

# ふじさん

fujijoho group monthly magazine

～ 2026年指針 ～

多 差 異 多 才

## 富士情報

[今月のひとこと]

スペースX

- ・ 2026 年度入社式
- ・ 情報処理技術者試験合格者



宝鏡寺のヤマブキソウ

写真提供：都留市 産業課



今月のひとこと

## スペース X

社長 渡辺直企

イーロン・マスク氏率いる宇宙開発企業スペース X は 4 月 1 日に米証券取引委員会 (SEC) に非開示で新規株式公開 (IPO) を申請しました。6 月上旬にも投資家に対する会社内容の説明会が開催される見通しとのことです。今回の IPO による資金調達額は 750 億ドルに達し、2019 年にサウジアラムコが記録した最高記録の 290 億ドルを上回ります。2026 年 2 月、スペース X は株式交換を通じてイーロン・マスク氏が創業した AI 企業の xAI を買収していて、スペース X の評価額が 1 兆ドル、xAI が 2500 億ドルとなり企業評価額は約 1 兆 2500 億ドルになるそうです。

スペース X は 2002 年にイーロン・マスク氏によって設立されました。Falcon9 などのロケット打ち上げ事業と衛星インターネット Starlink、そして Starlink を元に政府・軍事利用に特化した Starshield の 3 つの柱があります。Falcon9 は部分的に再利用可能なロケットで 2015 年には打ち上げ後、第 2 段目と分離した 1 段目ロケットの垂直着陸に成功しています。2017 年には回収した 1 段目ロケットの再利用にも成功し低コスト化を実現しています。世界的にロケットの打ち上げ回数は増加していて、2018 年には 85 回でしたが、2025 年には 316 回打ち上げられました。スペース X はこの半分以上、Falcon9 だけで 165 回の打ち上げを成功させています。2026 年 2 月 15 日には Falcon9 の通算 600 回目の打ち上げを成功させ、24 基の Starlink を軌道に投入しました。

スペース X は 2018 年に Starlink のプロトタイプを 2 基打ち上げに成功しています。その後、1 基 220kg 超の Starlink を一度に最大 60 基打ち上げ、現時点で 10,000 基ほどの Starlink が稼働しているそうです。2022 年ロシアがウクライナに侵攻するとウクライナ通信ネットワークは標的となり、スペース X はウクライナからの要請を受けて Starlink の提供を開始しています。以来ウクライナの重要な通信インフラになっています。最近ではロシアが Starlink を不正利用しドローンの誘導に使うようになりましたが、2026 年 2 月スペース X がウクライナの「ホワイトリスト」に使用を限定したことでロシア軍に混乱が生じるなど大きな影響力があります。

2026 年 1 月 30 日スペース X は連邦通信委員会(FCC)に 100 万基のデータセンター衛星を低軌道に打ち上げることを求める申請書を提出しました。スペース X は「運用・保守コストをほとんどかけずにほぼ一定の太陽光発電を直接利用することで、これらの衛星はコストとエネルギー効率を劇的に向上させると同時に、地上データセンターに伴う環境への影響を大幅に削減する」と説明しています。スペース X は現在、完全再使用型の Starship を開発中です。昨年 10 回目、11 回目の試験打ち上げと着水に成功しています。Starship の最大積載量は 100 トン以上なので Falcon9 の 22.8 トンから比べると大幅に増加します。宇宙空間では高エネルギー放射線の宇宙線を被爆するので AI 向けの GPU などは影響を受けやすいと心配する意見が多くあります。AI 半導体(GPU)市場で 8 割のシェアを持つ NVIDIA は 2026 年 3 月 16 日に「Space Computing」という宇宙向けの事業を発表しました。同時に宇宙企業 6 社との提携を発表しています。このうち Starcloud は 2025 年 11 月に NVIDIA の GPU(H100)搭載衛星を打ち上げ済みで、今後ますます技術開発の成果を目にすることが多くなると思います。宇宙での開発が多くの人にとってメリットのある結果になるよう期待しています。